

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成 年 月 日

評価対象年度：平成 19 年度				管理No.	
事務事業名 実施した事務事業名				部等名	
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	事業を実践するための予算科目 ・予算の事業名です	課等名
			細々目名		係等名
政策体系	基本目標	事務事業の上位にある基本目標・施策・基本事業を記載しています。 (まちづくりを実現する柱となる方策を表しています。)			
	施策				
	基本事業名				

事業概要 ・ 実施内容	事業の内容、手順、やり方について簡潔に記載しています。				
根拠法令等	事業を実施する根拠となる法令などです		事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業	
			評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input type="checkbox"/> 事後評価	

重点事業区分	重点事業	事業実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 負担金補助及び交付金	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円		円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	0円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		事業を行ううえで何(人やもの)を対象としているのかを表しています	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	事業の内容、手順、やり方などを表しています	活動指標名・式 (アウトプット) ※活動の大きさを表す指標	指標 (1) 名称 式 活動の大きさを測るための名称及び算定式です 指標 (2) 名称 式
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)	事務事業の対象を、活動内容を通してどのような状態にしたいのか、または実現したい状態を表しています	成果指標名・式 (アウトカム) ※意図の達成度を表す指標	指標 (1) 名称 式 意図の達成度合を表し、事業の実施によりどのような成果が得られたかということ 指標 (2) 名称 式 を測るための名称及び算定式です
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか			
政策体系の施策の実現へむけてどのように貢献できるかを表しています。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	19年度 (実績)	年度 ()	年度 ()	年度 ()	年度 ()	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)						
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)						
	成果指標 (2)						
投入量	事業費	内 国・県支出金	千円	計画の数値及び実績の数値です			
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0
	人件費	職員数	人				
		人件費平均額 (年)	千円	8,373			
人件費計 (B)		千円	0	0	0	0	
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	0	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

①、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わったか?	事業を行っていく中で、取り巻く情勢がどのように変わったかを表しています。
②この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	事業を行っていく中でどのような意見や要望が寄せられているかを表しています。

2. 事務事業の評価 (Check)

【目的妥当性評価】		
施策体系との整合性 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】
上位施策への貢献度について判断し、該当するものを選択します。	事業の必要性を再考し、市が行うべき事業かどうか判断し、該当するものを選択します。	事務事業の現状や成果から考えて対象・意図を見直すことが必要か判断し、該当するものを選択します。
【有効性評価】		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】	事業の中止・廃止による影響 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓, ⇒改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】
この事業の成果を向上させる方策があるかどうか検討し、該当するものを選択します。	事務事業の現状や成果から考えて廃止や休止ができるか判断します。	類似の目的や形態をもつ他の事務事業があるかどうか、その事業と統合や連携ができるか検討します。
【効率性評価】		【公平性評価】
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由↓, ⇒改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由↓】
当該事業についてのトータルコストを再考し、コストの縮減ができるか検討します。		現状の成果を下げずに人件費を削減することはできるか検討します。
事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す余地があるか検討します。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性 1次評価の結果を「レ」印で表しています

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 全体総括、反省点を表しています。																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(4) 改革改善案の概要 2. 事務事業の評価(Check)で改革改善案を記載します。 改革改善案の期待される効果について「O」で表しています。																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 改革案を実施する際の何らかの阻害要因、その対応策について表しています。																								

4. 事務事業の2次評価結果 2次評価対象 2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由 2次評価の結果(この事業の今後のあり方)を「レ」印で表しています。 2次評価結果の根拠、理由を表しています。																							
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない) 今後の事業のあり方について、該当項目にチェックを入れます。この結果は、次年度以降の予算に反映させます。	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項 2次評価の結果(指摘事項)をこの欄に表しています。																								